

エレクトロニクス部会ニュース

Vol. 9, No. 6 (通巻No. 57) 2018年2月16日

化学工学会エレクトロニクス部会ニュースをお届けします。内容は、平成29年度第6回幹事会のトピックです。

【お知らせ】 幹事会後半には、各界の識者を招いて幹事会講演会を開催しています。これまでも幹事以外の部会員の参加を受け付けていましたが、18年度から、より多くの部会員に参加いただくべく、事前に案内を流すことになりました。皆様のご参加をお待ちしています。

■ 2017年度第6回幹事会トピック

- ・日時 平成30年(2018年)2月9日(木) 14:00~17:15
- ・場所 住友ベークライト株式会社本社 20階特別第3会議室(天王洲パークサイドビル)
- ・出席者 近藤部会長, 横沢副部会長, 鳥成, 所, 薦田, 及川, 武野, 吉野 各幹事の8名
- ・議事進行 鳥成幹事

1. 前回(12/7)幹事会議事録の承認

2. 会員異動, 幹事名簿確認

- ・高橋幹事の所属機関変更と, 及川幹事の所属部所変更の連絡がありました。
- ・mate共催担当を, 横沢幹事が正式に担当することになりました。

3. 会計報告

平成29年(2017年)度12月~平成30年1月度の会計報告があり, 承認されました。次年度分の年会費前受け分を除くと, 最終的に+7万円程度の期末決算となる見込みです。詳細は, 資料-1をご参照ください。また, 会員各位の年会費支払い状況の確認がありました。

4. 部会運営課題の抽出について

- ・部会シンポジウム運営手順整理: 開催日から遡り, 時系列で行う事をリストアップした上で, いつまでに, 誰が, 何を行うのか, 一覧表を作成中です。
- ・部会ニュース: 配信やウェブページへの掲載が滞りがちな点について, 部会活動発信の場として重要な位置づけであることを再確認し, 速やかな配信と掲載を徹底することになりました。
- ・化学工学会秋季大会シンポジウム: 現在はエレクトロニクス部会単独で秋季大会シンポジウムを開催していますが, 部会で主催するシンポジウム(部会シンポジウム)との棲み分けについて議論を行いました。この点について, 秋季大会にはエレクトロニクスに限らず様々な分野の専門家が参加していることを受けて, 他の部会と共同し, より広い範囲のテーマを選定してはどうか, との提案がありました。すなわち, エレクトロニクスに関するホットピックは部会主催の部会シンポジウムで扱い, 秋季大会では部会の枠を超えた横断的なテーマを選定する, というものです。なお, 学会の役割として, 学生に発表の場を提供する責務がある旨の指摘があり, この点を含め, 今後議論を深めていくこととなりました。

5. 平成30年度(2018年度)エレクトロニクス部会シンポジウムについて

本年度のテーマとして「パワーデバイス」を選定しました。デバイスの最新動向や, 材料・プロセス面におけるトピックを取り上げる予定です。日程やプログラムなど詳細は決定次第ご案内しますので, ご期待ください。

6. 幹事会講演会への部会員参加希望者募集について

幹事会後半に開催している幹事会講演会にて, 18年度より部会員限定で希望者の参加を募ります。従来も希望があれば参加を受け付けていましたが, 今後は開催一週間程度前に部会メーリングリスト宛に案内を流し, 周知を行います(先着順)。皆様のご参加をお願いします。

7. 次回幹事会及び幹事会講演会

日時 2018年4月10日(火) 14:00
 場所 住友ベークライト株式会社本社 20階会議室
 進行役 薦田幹事

■ 幹事会講演会概要

講師 三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所 松岡 徹様

題目 高耐熱 SiC モジュールの最新動向

SiCはSiと比較してバンドギャップが広く、また絶縁耐圧も高いことから、従来のSiパワーデバイスの課題であった高温・高圧で動作可能なパワーデバイスとして注目されている。高温・高圧で動作するSiCデバイスの高性能化、高信頼化には、そのパッケージング技術が重要であり、講演ではチップの接続、絶縁・放熱技術、配線技術、封止技術について詳細な解説があった。一例として、SiCデバイスそのものは温度変化による故障は滅多に起こらず、主要な故障モードはチップと実装材料間の熱膨張率の差により接合部の機械的なストレスに起因すること、この点に関し、従来セラミック材料を使用していた絶縁基板を樹脂基板に置き換える試みが紹介された。その他、SiCデバイスが必要とされる応用例として、鉄道向けパワーデバイスを例に、モータの低損失化やインバータの高周波動作などの紹介があった。

■ 資料 1

平成29年(2017年)12月～平成30年(2018年)2月会計報告

1. 前回残高(平成29年11月末)

口座残高	1,998,756 円 ①
積立金	1,800,000 円
実質残高	198,756 円

2. 今回収入と支出

項目	日時	内容	金額(円)
収入	2017/12/8	12/8第5回幹事会 技術交流会費	24,000
		年会費(個人) @5K×7名(入金確認済み分)	35,000
		年会費(法人) @50k×7社(入金確認済み分)	350,000
収入計			409,000 ②
支出	2017/12/8	12/8 第5回幹事会飲み物代	3,500
	2017/12/8	12/8 第5回幹事会技術交流会費	39,200
	2017/12/8	年会費請求切手代	3,280
	2017/12/8	12/8 第5回幹事会交通費(3名分)	62,608
支出計			108,588 ③
		月次収支	300,412 ②-③
		全体収支 ①+②-③	2,299,168 ④

3. 残高(平成29年1月末)

口座残高	2,299,168 円 ⑤
積立金	1,800,000 円
実質残高	499,168 円

④の全体収支と、⑤の口座残高(平成30年1月末現在)が一致していることが確認された。

備考

実質残高のうち、次年度活用費用である年会費前受分を差し引くと、29年度残高は約11万円。最終的に、29年度単独で+7万円程度の期末決算となる見込み。